

速 報

各関係機関の長 殿

福岡県病虫害防除所長

平成15年度病虫害発生予察速報第4号について

このことについて、以下のとおり送付します。

平成15年度病虫害発生予察速報第4号

- 1 対象作物 キウイフルーツ
- 2 病虫害名 クワシロカイガラムシ
- 3 発生状況
 - (1) 第1世代幼虫の発生最盛期は、平坦地域で5月13～20日、中山間地域で5月18～28日であった。
 - (2) 5月下旬～6月下旬の降水量（筑後市）は283mmで平年よりやや少なく（平年：421mm）、本虫の生育に適していた。
 - (3) 第1世代雌成虫の産卵状況は、第1表のとおりで、すでにふ化の始まっているほ場も見られる。
- 4 防除上注意すべき事項
 - (1) 防除適期は、第1表から推定して平坦地域が7月15～25日、中山間地域が7月22日～8月1日頃と予想される。
 - (2) 第2世代幼虫の発生時期は園によるばらつきがあり、齢が進むと虫体がロウ物質で被われ防除効果が落ちるので、ふ化状況をよく観察して、1～2齢幼虫期に防除を行う。
 - (3) 多発園では幼虫のふ化時期が長くなるので必ず2回防除を行う。2回防除を行う場合は、IGR剤、有機リン剤の順で10日間隔で散布すると防除効果が高い。
 - (4) 薬剤は第2表を参照し、農薬使用基準（収穫前日数・使用回数）を遵守する。

第1表 クワシロカイガラムシ雌成虫の産卵率及びふ化率(%)

調査地点	7月4日		7月9日	
	産卵率	ふ化率	産卵率	ふ化率
立花町 光友	50	0	80	40
” 北山	32	0	47	14
” 白木	8	0	46	0

調査地点、光友及び北山は平坦地域、白木は中山間地域

第2表 クワシロカイガラムシ防除薬剤一覧

分類	薬剤名	濃度	使用基準	
			収穫前日数	回数
I G R 剤	アプロード水和剤	1,000	7日	2回
有機リン剤	スプラサイド水和剤	1,500	60日	3回